



あいかわ



農業委員会だより

第78号

令和3年1月15日発行

発行：愛川町農業委員会

編集：あいかわ農業委員会だより編集委員会

愛川町角田251-1

Tel 285-2111(代)



みずみずしい半原ワサビの葉と根茎

(伊豆地方や島根県の主要品種のルーツといわれています。)

新年を迎えて

農業委員会会長 熊坂 博

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年の新語・流行語年間大賞に「3密」が選ばれ、また、新型コロナウイルス関連のワードが新語・流行語に数多くノミネートされるなど、世界的な感染症が猛威を振るった一年でありました。そして、現在も予断を許さない状況となっているものであります。

農業委員会といたしましては、引き続き感染防止対策を講じながら、地域密着活動を推進してまいりたいと考えております。

まだまだ寒い日が続きますが、健康には充分にご留意いただき、皆様が今年も充実した一年を送れるよう祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

紹介2面 人農地プランのアンケートについて
3面 人農地プランのアンケートについて ちょっとひと息
紙4面 有害鳥獣今年度被害の特徴 農林業施策の町への要望

人農地プランのアンケートについて

町では、農業政策の基礎となる「人」と「農地」の問題を解決するため、**三増地区全域、角田字東峰・中菅根・中段・峰・西峰地区**を対象として「人・農地プラン」を作成しました。国からも、今後5～10年後における地域内農地について「その地域の農業を将来、中心的に担う経営体は誰なのか」「いつ、どのように集積・集約化するのか」を明確にするよう求められ、このプランをより地域の実情を踏まえた内容に見直すため、アンケート調査を実施いたしました。

アンケートにご協力をいただきまして、ありがとうございました。ここで、その一部ではありますが、結果を報告させていただきます。

地域農業の将来(人と農地の問題)に関するアンケート調査集計結果

【質問】経営面積は今後どうされるつもりですか。

1 経営規模を拡大したい・・・・・・・・	三増地区	5.5%	角田地区	8.7%
2 現状維持・・・・・・・・	三増地区	69.5%	角田地区	61.5%
3 離農または規模縮小したい・・・・・	三増地区	25.0%	角田地区	29.8%

【質問】後継者はいますか。

1 家族や親せき・・・・・・・・	三増地区	47.4%	角田地区	36.9%
2 親せき以外の農業者・・・・・・・・	三増地区	3.2%	角田地区	3.9%
3 後継者の目途はついていない・・・・・	三増地区	49.4%	角田地区	59.2%

【質問】後継者の目途がついていない方に伺います。今後の農地利用の意向を教えてください。

1 他の農業者に貸したい・・・・・・・・	三増地区	27.2%	角田地区	21.7%
2 他の農業者に売りたい・・・・・・・・	三増地区	25.6%	角田地区	31.7%
3 農地中間管理事業を利用したい・・・・・	三増地区	15.2%	角田地区	23.3%
4 自己管理する・・・・・・・・	三増地区	32.0%	角田地区	23.3%

※アンケート回収率・・・・・・・・	三増地区	55.8%	角田地区	60.1%
※配付枚数・・・・・・・・	三増地区	491名	角田地区	183名



人農地プランのアンケートについて

まとめ

今回のアンケートについて、「後継者の有無について」の質問に対する回答では、後継者の目途がついていない方が約半数を占めており、このうちの約7割の方が「農地を売りたい・貸したい」など、自己管理以外の意向を示しております。このことから、地域農業の将来的な展望は厳しい現状にあることが確認できました。これらの結果を踏まえ、今後、関係者と協議を進めてまいります。



アンケート調査後のスケジュールですが、
コロナ禍である現状を踏まえますと、「地域での話し合い」や「検討会」の実施について、見直しをしていく必要があると考えています。今後の進め方については、決まり次第、町の方でお知らせをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



ちょっとひと息

「将来わが家の農地は？」 M・H委員

愛川に生まれ育って七十三年、男四人女二人の六人兄弟の末っ子として誕生。小学校四、五年生より父親の農作業を手伝う様になった。

田植の時期には手作業で田植え、草取りを、刈り取りの時期には兄弟揃って稲刈りをした記憶がある。畑に連れて行かれては、種蒔き、草むしり、寒くなつては麦踏など長年に渡り父親の農作業の手伝いをしていた。そうした事からその後父親からの相続にて農地を取得、勤めの傍ら土日には農業に専念、その後兄の荒廃農地を取得、現在、自農地約一反にて主に葉物野菜を栽培している。

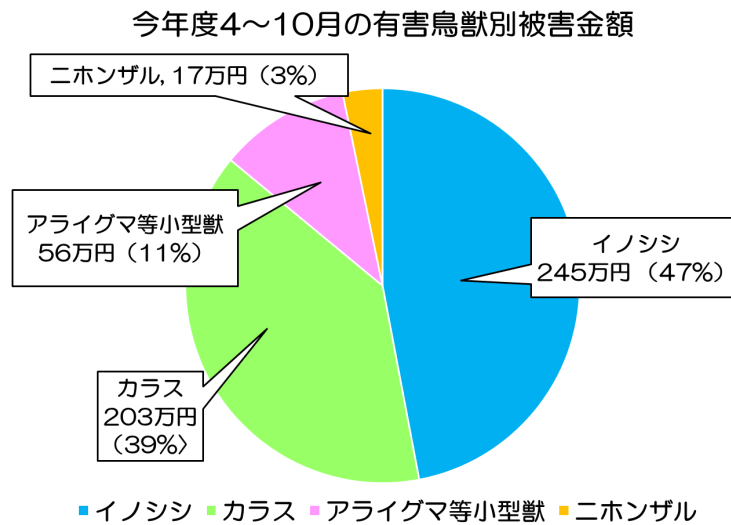
去年はイノシシに二回畑を荒らされ、二回目には三〇〇本植えたサツマイモ畑を植え込んだ数ヶ月後に、そしてイチゴ畑もすべて荒らされ、去年のサツマイモの収穫はゼロであった。今年は去年購入した電気柵を設置し管理する計画である。今年も健康管理に充分注意し、畑にいればコロナ感染も心配する事なく作業に取り組んでいきたい。

なお、心配なのは、私も後期高齢者になってきており今後の農振農用地を娘二人がどう守って管理していくのかが心配である。



有害鳥獣による今年度の被害の特徴

今年度の有害鳥獣被害の特徴は、イノシシ及びカラスによる被害が特に多い傾向となっています。



※被害金額＝県の被害額算定単価（ha当り）×被害面積に基づく割合

被害の多い地域は、例年、被害報告件数の多い半原地域のほか、三増地域では、イノシシに加えてカラスの被害件数が特に増加傾向にあり、鳥獣の行動域が変化してきていると考えられます。このような有害鳥獣による被害を防ぐため、町では電気柵等を設置した費用の一部を補助しています。また、鳥類には、テグス（釣糸）等の設置が効果があるといわれています。詳細は町農政課へ問い合わせてください。

農地利用最適化の推進に関する町への意見・要望

農業委員会は、農地等利用最適化の推進及び農林業施策・予算に関する意見・要望を、町に行っております。本年度も令和3年度に向け、町への意見・要望を提出しました。主なものは次のとおりです。

- 1 優良農地・土壌保全対策
 - ◆一定規模以上の農地造成について、適切な埋め立て等を推進する条例の制定（または既存条例の改定）
- 2 有害鳥獣対策
 - ◆駆除を含めた有害鳥獣対策の継続実施、地域住民とのさらなる連携強化や対策の周知
- 3 遊休・荒廃農地対策
 - ◆あいかわ準農家が借用する遊休・荒廃農地に対する草刈及び耕うん等の助成
- 4 畜産経営環境保全対策
 - ◆「町畜産経営環境保全対策指導方針」に基づく臭気対策へのきめ細やかな対応



小野澤町長へ要望書を提出

編集委員

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
加藤	花上	諏訪部	榎本	熊坂	落合	高木
一男	満	衛人	計雅	博	貢	正徳